

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。確は確認項目、加は加点項目、減は減点項目を示す。

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
1 施工体制	I 施工体制一般	<input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が施工体制台帳、施工体系図で確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事カルテ(請負金額500万円以上)の登録は工事監督員の確認を受けた上で、契約後10日以内に行われている。 <input type="checkbox"/> 雇用者等の雇用形態に応じて、中小企業退職金共済、建設業退職金共済等の制度に加入し、適正に処理されている。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図等が整備され、施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致している。 <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置の施工となっている。 <input type="checkbox"/> 工事監察において指摘がない。 <input type="checkbox"/> その他の事項:	施工体制が適切である	他の事項に該当しない	施工体制がやや不備である	施工体制が不備である	
	<input type="checkbox"/>	該当項目が 80%以上..... b 該当項目が 60%以上80%未満..... c 該当項目が 60%未満..... d	$\frac{\text{□}}{\text{□}} = \text{□} \%$ ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。		<input type="checkbox"/> 施工体制が不備であり、工事監督員から文書により改善指示を行った。(特別監察における改善指示があった場合を含む) □ 上記該当事項があれば・・・ e		
	II 配置技術者 (現場代理人等)	<input type="checkbox"/> 現場代理人として、工事全体の把握ができている。 <input type="checkbox"/> 現場代理人として、工事監督員との連絡調整を書面で行っている。 <input type="checkbox"/> 書類整理、資料整理が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち、創意工夫・高度技術の提案をもって工事を進めている。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、指針等を良く理解し、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 設計図書の照査が十分で、現場との相違があった場合は適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 作業環境、気象、地質条件等の困難克服に努めている。 <input type="checkbox"/> 下請の施工体制、施工状況を把握し、部下等共によく指導している。 <input type="checkbox"/> 主任技術者又は、監理技術者として技術的判断に優れ良好な施工に努めた。 <input type="checkbox"/> 作業主任者を選任し配置している。 <input type="checkbox"/> その他の事項:	技術者が適切に配置されている	技術者がほぼ適切に配置されている	他の事項に該当しない	技術者の配置がやや不備である	技術者の配置が不備である
	<input type="checkbox"/>	該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... b 該当項目が 60%以上80%未満..... c 該当項目が 60%未満..... d	$\frac{\text{□}}{\text{□}} = \text{□} \%$ ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。		<input type="checkbox"/> 主任技術者等の技術者配置が不備で、工事監督員から文書による改善指示を行った。 □ <input type="checkbox"/> 専門技術者が配置されていない。 □ 1項目でも該当あれば・・・ d 2項目該当..... e		

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	III 安全対策	安全対策を適切に行った	安全対策をほぼ適切に行った	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備であった	安全対策が不備であった
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全協議会等を設置し、1回/月以上活動し記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けていない、または指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告している。 <input type="checkbox"/> 安全教育・訓練等を4時間/月以上適時、的確に実施し記録が整備され、かつ創意工夫をしている。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全管理の臨機の措置を行った。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備等がなされ管理されている。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 山留め、仮締切等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 工事現場における保安施設等の整備・設置・管理が的確であり、よく整備されている。 <input type="checkbox"/> その他の事項:	<input type="checkbox"/> 安全対策の不備により、災害等の損害を受けた。 _____ 上記該当あれば・・・ e <input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であり、工事監督員から文書による指示を行った。 _____ 上記該当あれば・・・ d			
	IV 対外関係	対外関係が適切であった	対外関係がほぼ適切であった	他の事項に該当しない	対外関係がやや不備であった	対外関係が不備であった
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公庁等の関係機関と調整し、トラブルの発生がない。 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、地元との適切な調整を行った。 <input type="checkbox"/> 苦情が無かった、または苦情に対して的確に対応し、良好な対外関係であった。 <input type="checkbox"/> 積極的な地元対策を実施し、第三者(地元関係者を含む)からの苦情が無かった。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与している。 <input type="checkbox"/> その他の事項:	<input type="checkbox"/> 関連工事との調整に関して、発注者の指示に従わなかったため、関連工事を含む工事全体の進捗に支障が生じた。 _____ 上記該当あれば・・・ e <input type="checkbox"/> 請負者の対応による苦情が多い。または対応が悪くトラブルがあった。 _____ <input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、工事監督員から文書により指示を行った。 _____ 上記該当あれば・・・ d			
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... b 該当項目が 60%以上80%未満..... c 該当項目が 60%未満..... d	$\frac{\text{ } / \text{ } = \text{ } \%}{}$ ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。			
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... b 該当項目が 60%以上80%未満..... c 該当項目が 60%未満..... d	$\frac{\text{ } / \text{ } = \text{ } \%}{}$ ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	コンクリート構造物工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間(1.5hr(25℃超)or2.0hr(25℃以下))、打設時投入高(1.5m)、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。(資格証等) <input type="checkbox"/> スペーサーの材質(コンクリート製orモルタル製)が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置(側壁2個/m ² ・底版4個/m ²)し、鉄筋のかぶりを確保している。	<p><input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づき処置を行っている。</p> <p>上記該当あれば・・・ c</p>	<p><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。(影響が特に重大な場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・ e</p>	
		該当項目が 80%以上..... a 該当項目が 60%以上80%未満..... b 該当項目が 60%未満..... c	<p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </p> <p> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 </p>			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ II 品質	土工事 (切土、盛土、築堤等工事) <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である	
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 段切り等が施工前に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 締固めを適切な条件で施工している。 <input type="checkbox"/> 筋芝または種子吹付等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固等の処理を適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 土羽工(土羽土)の土質が適正である。 <input type="checkbox"/> CBR試験等を行なっている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e	
		該当項目が 80%以上…………… a 該当項目が 60%以上80%未満…………… b 該当項目が 60%未満…………… c	$\frac{\text{[]}}{\text{[]}} = \text{[]} \%$ <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p>				

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	護岸・根固・水制工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 裏込材、胴込コンクリートの充てんまたは締固めが充分で、空隙が生じていない。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等で材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸出しのおそれがない。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅(15cm以上)で重ね合わせられ、端部処理が適切(20cm以上)である。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結またはかみ合わせが適切である。	<input type="checkbox"/> コンクリートブロック張等にクラックがある場合、進行性又は有害なクラックはなく、発生したクラックには適切な処置を行っている。 上記該当あれば・・・ c <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。 <input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。(特に影響が重大な場合) <input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e	
		$\frac{\text{[]}}{\text{[]}} = \text{[]} \%$		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。		

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	<p>[評価対象項目]</p> <p>[工場製作関係]</p> <p><input type="checkbox"/> 鋼材の員数照合がミルシート等(現場照合を含む)で確認されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。(資格証等)</p> <p><input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む)</p> <p><input type="checkbox"/> 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>[架設関係]</p> <p><input type="checkbox"/> ボルトの締め付け確認が実施され、適切に記録が保管されている。</p> <p><input type="checkbox"/> ボルトの締め機、測定機器のキャリブレーション(検査)を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及びキルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切り勾配がついている。</p> <p>該当項目が6項目以上..... a</p> <p>該当項目が5項目 b</p> <p>該当項目が4項目以下..... c</p>			<p><input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> <p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> <p>上記該当あれば・・・ e</p>

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e	
3 出来形及び出来ばえ II 品質	砂防構造物工事及び地すべり防止工事(抑止杭・集水井戸工事を含む) <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である	
		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。		<input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。		<input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。(特に影響が重大な場合)	
		[評価対象項目] [共通]		上記該当あれば・・・ c		上記該当あれば・・・ d	
		<input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。		<input type="checkbox"/> 設計図書が無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。		<input type="checkbox"/> 設計図書が無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。	
		<input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。		<input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。		<input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。	
		<input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。		<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。	
		<input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間(1.5hr(25℃超)or2.0hr(25℃以下))、打設時投入高(1.5m)、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。		上記該当あれば・・・ d		上記該当あれば・・・ d	
		<input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。					
		<input type="checkbox"/> 地山との取り合わせが適切に行われている。					
		<input type="checkbox"/> 鉄筋または鋼材の規格がミルシートで確認できる。					
		[砂防構造物工事に適用]					
		<input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。					
		<input type="checkbox"/> アンカーが設計図書どおり施工してあることが、確認できる。					
		<input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。					
		<input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーション(試験)を実施している。					
		[地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)に適用]					
		<input type="checkbox"/> アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。					
		<input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮し施工を行っている。					
		<input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工を行っている。					
		<input type="checkbox"/> 集・排水ホーリング工の方向、角度が適正となるように施工上の配慮がなされている。					
		該当項目が 80%以上..... a		<input type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> = <input type="checkbox"/> %			
		該当項目が 60%以上80%未満..... b					
		該当項目が 60%未満..... c					
				① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	舗装工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <p>[路床・路盤工関係]</p> <p><input type="checkbox"/> 路床・路盤の施工に先立ち、CBR値を測定し、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 路床・路盤工のプルフローリングを行っている。</p> <p>[アスファルト舗装工関係]</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練が行われており、適切な混合物の規格が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 混合物の温度管理がプラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 舗装後、直に供用する必要がある現場で、交通開放を適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 舗装の各層の継ぎ目が仕様で定められた数値(15cm)以上ずらしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 目地の処理が仕様書に定められた通りであることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締め固め等)の配慮が行われている。</p> <p>[コンクリート舗装工関係]</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間(1.0時間(タンクトラック)or1.5時間(ジテータトラック)、打設方法、養生方法等を適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> チェア、タイバー等の保守管理が適正であることが確認できる。</p> <p>該当項目が6項目以上..... a</p> <p>該当項目が5項目 b</p> <p>該当項目が4項目以下..... c</p>			<p><input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・ e</p>

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	基礎工工事 (地盤改良等を含む) <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <p>[杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒等)]</p> <p><input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 杭の打止め管理方法または場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 水平度、安全度、鉛直度等が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 場所打ち杭について、トレー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重等が適切に管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたって、偏心と歪が少なくなるよう配慮されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。</p> <p style="text-align: right;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </p>			<p><input type="checkbox"/> 工事監督員が、文書で改善指示を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ d</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ e</p>
		該当項目が 80%以上…………… 該当項目が 60%以上80%未満…………… 該当項目が 60%未満……………	a b c	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。		

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	コンクリート橋工事 (PC及びRRCを対象)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間(1.5hr(25℃超)or2.0hr(25℃以下))、打設時投入高(1.5m)、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の引張り強度または曲げ強度が試験値で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。(資格証等)</p> <p><input type="checkbox"/> スペーサーの材質(コンクリート製orモルタル製)が適正で、品質が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置(側壁2個/m²・底板4個/m³)し、鉄筋のかぶりを確保している。</p> <p><input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション(緊張)管理が適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 装置(機器)のキャリブレーション(試験)が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 緊張及びグラウト管理が適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。</p>	<p>品質管理がほぼ適切である</p>	<p><input type="checkbox"/> クラックがある場合、有害又は進行性のクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ c</p>	<p><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ d</p>	<p><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。(特に影響が重大な場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。</p> <p style="text-align: center;">上記該当あれば・・・ e</p>
		<p>該当項目が 80%以上..... a</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>	<p style="text-align: center;"> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p>			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	塗装工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> ケンが入念に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物がない。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。 <p> 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目以下..... c </p>			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ e

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e		
3 出来形及び出来ばえ	トンネル工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である		
II 品質	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ等が適切である。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄網の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋等の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm(一目)以上重ねあわせていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートは浮石等を除いた後に、15cm以下の厚さで地山と密着するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの打継ぎ部の施工で清掃及び湿潤状態が確認できる。 <input type="checkbox"/> ロックボルト挿入前にくり粉除去の清掃がなされている。 <input type="checkbox"/> 逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎ目が同一線上にないことが確認できる。			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d		<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e	
		該当項目が 80%以上…………… a 該当項目が 60%以上80%未満…………… b 該当項目が 60%未満…………… c	$\frac{\text{a}}{\text{b}} = \text{c} \%$			① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。		

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	植栽工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 活着管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 <input type="checkbox"/> 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないように、また均一に施肥されている。			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
該当項目が5項目以上.....	a	該当項目が4項目.....	b	該当項目が3項目以下.....	c	
考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>品質関係の試験値が1つも無い場合は、下記の評価対象項目だけで評価する。</p> <p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%程度以下である。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶等の管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
該当項目が3項目以上.....	a	該当項目が2項目.....	b	該当項目が1項目以下.....	c	

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	電気通信工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 単体品(材料・部品組立後の品質及び形状が均一で、設計図書等との適正が確認でき、証明書等が整備されている。ただしJIS及び電気用品取締法施行令によるものは、単体品の証明書を省略できるものとする。 <input type="checkbox"/> 設備の機能が設計図書等との適正を確認でき、その機能の証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能(工場及び現地試験結果)がよく、所定の能力を満足している。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能(性能)が容易に判別できる資料等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が所持できる資料が整備されている。 <p> 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目以下..... c </p>			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> <p>上記該当あれば・・・ d</p>	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> <p>上記該当あれば・・・ e</p>

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	下水道工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミシット等(現場照合を含む)で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> 薬液注入工の材料が適切であり、注入量及び全体使用量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場にて管を切断する場合、適切な方法で切断され、管に損傷がない。 <input type="checkbox"/> 現場にて切断した管の切断面等や塗装面に傷、はがれが生じた場合に処理を行っているか。 <input type="checkbox"/> 薬液注入工の注入管理(注入量・圧力、周辺の状況監視)が適切である。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間(1.5hr(25℃起)or2.0hr(25℃以下))、打設時投入高(1.5m)、締固時のパイプレータの機種、養生方法等、適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固等の処理を適正に行っている。 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練が行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装 混合物の温度管理がプラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装 舗装後、直に供用する必要がある現場で、交通開放を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 水圧検査(漏水確認)を立会して実施し、検査結果に問題がない。 <input type="checkbox"/> その他の事項:			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ e
		該当項目が 90%以上..... 該当項目が 80%以上90%未満..... 該当項目が 60%以上80%未満..... 該当項目が60%未満.....	a b c d	$\frac{\text{[]}}{\text{[]}} = \text{[]} \%$ <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p>		

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	橋梁補修(ひび割れ補修、断面修復工等)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> ひび割れ補修工 表面含浸・塗装工 断面修復工 その他	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 施工前に、クラックを中心にワイヤーブラシ、ディスクサンダー等で表面の汚れ、付着物等を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用材料の特性を理解したうえで天候等現場状況を確認し、気温・湿度等の計測を行い作業していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 主剤と硬化剤の攪拌、配合や可使時間が適切に管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 注入器具を所定の間隔でひび割れの中心に設置し、シール材の硬化時間を確認してから、注入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ひび割れ表面をシール材で確実に閉塞しており、注入にあたって注入材の漏れ、ダレがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 注入器、シール材、コンクリート表面に付着した注入材等をワイヤーブラシ、ディスクサンダー等で完全に除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高圧洗浄水等で洗浄し、施工面に付着物等が無く清掃されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度、コンクリート表面の水分量等の施工条件を管理し、適切な条件下で塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 規程の回数で塗布されており、空缶管理等により、基準塗布厚を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用材料の特性を十分に理解し、塗布した箇所を適切に管理し塗り抜け無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗布後の養生が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 健全部に損傷を与えないよう不良部を完全に撤去し、ブラシ、若しくはエアール等ではつり面の清掃を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 発錆している鉄筋の裏側まではつり取り、鉄筋の錆を完全に除去後、速やかに防錆剤を塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 攪拌、配合が適正に管理され、使用材料に適した可使時間内の施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 断面補修材の強度試験等を実施していることが確認出来る。 <input type="checkbox"/> 1回当りの施工厚は、材料特性を確認し規定の厚さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後は直射日光、風等が当たらないようにシートがけ養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他の事項：	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 上記該当あれば・・・ e
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... b 該当項目が 60%以上80%未満..... c 該当項目が60%未満..... d	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> / <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> % </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 </div>			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	二次製品水路工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> <p>共通</p> <p>構造物工</p> <p>その他</p>	<p>[評価対象項目]</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様書等で定めている材料の品質証明書等が整備されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 二次製品の材料の保管管理が適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 掘削面に崩壊・過堀が無く、施工基面が平滑に仕上げられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 製品周辺の盛土・埋戻の施工にあたり、締固め(まき出し・転圧)が適正に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 二次製品の吊込み・据付方法は仕様書どおりに施工されているのが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 二次製品の吊込み・据付の際に、十分な注意を払っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 継目部の目地モルタル・敷モルタルが仕様書等のとおり適切に施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 製品の継目部には隙間・ズレがなく、適切に施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できるとともに、鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他の事項:</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p><input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> <p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p><input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> <p>上記該当あれば・・・ e</p>	
		<p>該当項目が 90%以上…………… a</p> <p>該当項目が 80%以上90%未満…………… b</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満…………… c</p> <p>該当項目が60%未満…………… d</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> / <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> % </div> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p>			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	ほ場整備工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 共通 整地工 道路工 排水路工 管水路工	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 仕様書等で定めている材料の品質証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 畦畔・道路法面・用排水法面に、クラックや損傷部がない。又は損傷部を適切に補修している。 <input type="checkbox"/> 基盤切盛が良好な排水状態を維持するなど適切に施工され、基盤の均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 表土厚さ・客土厚さが適切に確保され、石レキや雑物の混入も少なく、均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 畦畔及び盛土部が十分に締固められている。 <input type="checkbox"/> 畦畔の通り及び畦畔の勾配が図面どおりに適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 盛土の締固めが適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 敷砂利等が均等で平坦性が良好である。 <input type="checkbox"/> 道路の中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の接合が適切であり、埋め戻しについては仕様書等に示された条件どおり締固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 排水路の中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の材料の保管管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既存施設や付帯構造物との取合せがスムーズに実施できている。 <input type="checkbox"/> 掘削断面に崩壊・過堀がなく、施工基面が平滑に仕上げられるとともに、埋戻しの締固め(撒き出し・転圧)が適正に出来ている。 <input type="checkbox"/> 管水路の中心線および縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 仕切弁・空気弁等の設置位置及び接合が、図面・仕様書どおりに適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> パイプ等の材料の保管管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 通水試験等が適切に行われ、許容範囲内であることが確認できる。	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 上記該当あれば・・・ e

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	ほ場整備工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	構造土工 揚水機場・サイホン 暗渠排水工 その他	<input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できるとともに、鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ポンプ及び電動機の能力が仕様書等で定められている能力以上の製品であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ポンプ及びサイホンの廻り配管は図面等で定められている機能が発揮できる配管であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吸水管等が適正な勾配で配置され、被覆材に雑物等の混入も無く、仕様書どおり実施されている。 <input type="checkbox"/> 表土戻しが適切に施工され、周囲との段差も無い。 <input type="checkbox"/> その他の事項:	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>		
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... b 該当項目が 60%以上80%未満..... c 該当項目が60%未満..... d	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> / <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> = <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> % </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 </div>			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	上記以外の工事又は合併工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> その他の事項: <input type="checkbox"/> その他の事項: <input type="checkbox"/> その他の事項: <input type="checkbox"/> その他の事項: <input type="checkbox"/> その他の事項:	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ e	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ e

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事監督員)

【記入方法】 該当する項目の□にレマーク、・に○を記入する。

考査項目	細別	技術力キーワード一覧表	【事例】 具体的な評価技術力項目及び工事事例																				
4 高度技術	キーワード評価	■施工規模の大きさへの対応 <input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模 <input type="checkbox"/> 2. その他 理由()	【施工規模が大規模】 下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・ 切土・盛土工 15万m³<V</td> <td>・ 護岸、築堤高 10m<H</td> <td>・ 浚渫工 100万m³<V</td> <td>・ 樋門、樋管 15m²<A</td> </tr> <tr> <td>・ 揚排水機場 2400mm<φ</td> <td>・ 堰、水門 最大径間長 25m以上 又は径間数 3径間以上</td> <td>・ トンネル(NA/TM) 内空断面積 85m²<A</td> <td>・ トンネル(沈埋工法) 300m²<A</td> </tr> <tr> <td>・ トンネル(シールド) 10m<φ</td> <td>・ トンネル(開削工法) 20m<H</td> <td>・ 海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤 水深 10m<H</td> <td>・ 地滑り防止工 100m<W 又は 150m<L</td> </tr> <tr> <td>・ 流路工 500m³<Q</td> <td>・ 砂防ダム 30m<H</td> <td>・ ダム高 150m<H</td> <td>・ 転流トンネル 400m²<S</td> </tr> <tr> <td>・ 橋梁下部工 高さ 30m<H</td> <td>・ 橋梁上部工 最大支間長 100m<L</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	・ 切土・盛土工 15万m ³ <V	・ 護岸、築堤高 10m<H	・ 浚渫工 100万m ³ <V	・ 樋門、樋管 15m ² <A	・ 揚排水機場 2400mm<φ	・ 堰、水門 最大径間長 25m以上 又は径間数 3径間以上	・ トンネル(NA/TM) 内空断面積 85m ² <A	・ トンネル(沈埋工法) 300m ² <A	・ トンネル(シールド) 10m<φ	・ トンネル(開削工法) 20m<H	・ 海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤 水深 10m<H	・ 地滑り防止工 100m<W 又は 150m<L	・ 流路工 500m ³ <Q	・ 砂防ダム 30m<H	・ ダム高 150m<H	・ 転流トンネル 400m ² <S	・ 橋梁下部工 高さ 30m<H	・ 橋梁上部工 最大支間長 100m<L		
		・ 切土・盛土工 15万m ³ <V	・ 護岸、築堤高 10m<H	・ 浚渫工 100万m ³ <V	・ 樋門、樋管 15m ² <A																		
		・ 揚排水機場 2400mm<φ	・ 堰、水門 最大径間長 25m以上 又は径間数 3径間以上	・ トンネル(NA/TM) 内空断面積 85m ² <A	・ トンネル(沈埋工法) 300m ² <A																		
		・ トンネル(シールド) 10m<φ	・ トンネル(開削工法) 20m<H	・ 海岸堤防、護岸、突堤、離岸堤 水深 10m<H	・ 地滑り防止工 100m<W 又は 150m<L																		
		・ 流路工 500m ³ <Q	・ 砂防ダム 30m<H	・ ダム高 150m<H	・ 転流トンネル 400m ² <S																		
・ 橋梁下部工 高さ 30m<H	・ 橋梁上部工 最大支間長 100m<L																						
■構造物固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 3. 対象構造物の形状の複雑さ(土被り厚やトンネル線形等を含む) <input type="checkbox"/> 4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事 <input type="checkbox"/> 5. その他 理由()	【事例:構造物固有な施工難度と対応工法等】 ・ 地山強度が低い。また土被りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事 ・ 砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事 ・ 鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事 ・ 供用中の道路トンネルの活線拡幅工事等 ・ 施工場所や構造物の特殊性に対処するための新技術、新工法を採用した工事 ・ パイロット工事。又は特殊な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事 ・ その他、特殊な工法及び材料等を用いた工事等																						
■技術固有の難しさへの対応 <input type="checkbox"/> 6. 工種及び工法の特異性 <input type="checkbox"/> 7. 新工法(機器類を含む)及び新材料の適用 <input type="checkbox"/> 8. その他 理由()	【事例:自然及び地盤条件への対応工事等】 ・ 河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事 ・ 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事 ・ 軟弱地盤上の繰連盛土のため、施行不可能日(待ち時間)が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事 ・ 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く) ・ 海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事 ・ 波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業行程から潜水夫を多用した工事 ・ 冬季施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬季の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事 ・ 斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に施工した工事 ・ 国立公園内での工事。又はイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工期間が限定されたり、施工方法が制限された工事 ・ その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事																						
■厳しい自然・地盤条件への対応 <input type="checkbox"/> 9. 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) <input type="checkbox"/> 10. 軟弱地盤、支持地盤の状況 <input type="checkbox"/> 11. 河川内・海城・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約 <input type="checkbox"/> 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響 <input type="checkbox"/> 13. 地滑り等の地質条件、急峻河川での水流、海城での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等 <input type="checkbox"/> 14. その他 理由()	【事例:周辺環境や社会条件等の施行現場での対応が必要になった工事等】 ・ 横断管渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガス管、水道管、電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事 ・ 鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事 ・ 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする跨線橋及び跨道橋工事 ・ 供用中の道路での補装及び修繕工事等 ・ 供用している自専道路等の路上工事で交通規制が必要な工事 ・ 市街地での夜間工事 ・ DID地区での工事 ・ 施行ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 ・ 供用中の道路(概ね交通量1万台以上)で片側交互通行の交通規制をした工事 ・ 工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事 ・ 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事 ・ 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事 ・ 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも厳しく、施工の制限を受けた工事 ・ その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事 ・ 工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事 ・ 大気圧を越える気圧下の作業室での工事 ・ 酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上・水面から10m以上(10m以下)での工事 ・ 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事																						
■厳しい周辺環境等、社会条件への対応 <input type="checkbox"/> 15. 地中埋設物等の地中内の作業障害物 <input type="checkbox"/> 16. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物 <input type="checkbox"/> 17. 周辺住民等に対する騒音・振動等の配慮 <input type="checkbox"/> 18. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> 19. 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約 <input type="checkbox"/> 20. 道路上で、特に交通規制及びその処理に伴う作業 <input type="checkbox"/> 21. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等 <input type="checkbox"/> 22. その他 理由()	【その他】 ・ その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術																						
■施工現場での対応 <input type="checkbox"/> 23. 災害等での臨機の措置 <input type="checkbox"/> 24. 施工状況(条件)の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等 <input type="checkbox"/> 25. その他 理由()	【高度技術の詳細評価】																						
■その他 <input type="checkbox"/> 26. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として評価する技術 理由()																							
記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	評点: _____ 点 ※・高度な技術力は、加点評価とする。 ・加点は+7点〜0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えても良い。																						

※1. 高度な技術力とは、工事全体を通して他の模範となるものを評定するものである。
 ※2. 詳細評価の記述にあたっては、工事検査員及び工事主管課長との合議とし、各考査項目はキーワードで大分類し、評定する詳細な高度な技術力を記述する。
 ※3. 高度技術では指定仮設も含む。
 ※4. 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事監督員)

考査項目	細別	技術力キーワード一覧表	備考
5 創意工夫 【軽微なもの】	キーワード評価	■準備・後片付け関係 <input type="checkbox"/> 1. 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 2. その他 理由:	
		■施工関係 <input type="checkbox"/> 3. 施工に伴う器具、工具、装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫 <input type="checkbox"/> 4. コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫 <input type="checkbox"/> 5. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 6. 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> 7. 設備工事で、加工・組立等の工夫又は、電気工事等の配線、配管等での工夫 <input type="checkbox"/> 8. 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 <input type="checkbox"/> 9. 照明・視界確保等の工夫 <input type="checkbox"/> 10. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 <input type="checkbox"/> 11. 運搬車両・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 12. 支保工、型枠工、足場工及び仮橋、覆工版、山留等の仮設工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 13. 施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> 14. その他 理由:	
		■品質関係 <input type="checkbox"/> 15. 集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 16. 土工関係、設備関係、電気関係の工夫 <input type="checkbox"/> 17. コンクリート打設関係の工夫(材料、打設、養生、出来形・品質等) <input type="checkbox"/> 18. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫 <input type="checkbox"/> 19. 配筋・溶接作業等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 20. その他 理由:	
		■安全衛生関係 <input type="checkbox"/> 21. 安全仮設設備等の工夫(落下物、墜落、転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 22. 安全教育、技術向上講習会等、教育・ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 23. 現場事務所、労働者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫 <input type="checkbox"/> 24. 有毒ガス・可燃ガスの処理、及び粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 25. 供用中の道路等の事故防止、一般車輛突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 26. 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫 <input type="checkbox"/> 27. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> 28. その他 理由:	
		■施工管理関係 <input type="checkbox"/> 29. 盛土の締め、場所打ち杭や既成杭の施工高さ等の施工に関する工夫 <input type="checkbox"/> 30. 施工計画書及び写真管理等の工夫 <input type="checkbox"/> 31. 出来形、品質との計測関係等の工夫、及び集計、管理図等の工夫 <input type="checkbox"/> 32. CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用 <input type="checkbox"/> 33. その他 理由:	
		■その他 <input type="checkbox"/> 34. その他 理由: <input type="checkbox"/> 35. その他 理由:	
記述評価 【レマークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	評点: _____ 点 ※・特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・加点は+13点～0点の範囲とする。 ・該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えても良い。	【創意工夫の詳細評価】	

- ※1. 創意工夫においては「5. 高度な技術力」の考査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点・抽出記載する。
- ※2. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とされるが、企業努力を引き立たせるため、本考査項目でも再評価する。
- ※3. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが、非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。
- ※4. キーワードの評価(選定)及び詳細評価は、工事主管課長との合議をもって記述する。
- ※5. 設計変更の対象としない工法や施工段取り等で軽微な行為を記述。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、a～eに○をつける。 加は加点項目を示す。

(工事主管課長)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	II 工程管理	工程管理が非常に優れている	工程管理がやや優れている	他の事項に該当しない	工程管理がやや不備である	工程管理が不備である
		<input type="checkbox"/> 災害復旧工事及び施工条件の変更等による工期的な制約がある中で工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 隣接する他の工事との積極的な工程調整を行いトラブルを回避した。 <input type="checkbox"/> 地元調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> 代休等を確保するなど、適切な人員管理と工程管理が地域住民への好印象を与えている。 <input type="checkbox"/> 配置技術者(現場代理人)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 <input type="checkbox"/> その他の事項:		<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
※上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e評価を行う。						
	細別	a	b	c	d	e
	III 安全対策	安全対策が非常に優れている	安全対策がやや優れている	他の事項に該当しない	安全対策がやや不備である	安全対策が不備である
		<input type="checkbox"/> 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全衛生管理活動が活発で他の模範となっている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に対する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 安全協議会活動に積極的に取り組むなど、リーダーシップを発揮している。 <input type="checkbox"/> 安全職場実現への取組が地域全体から評価されている。 <input type="checkbox"/> その他の事項:		<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>		
※上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c, d, e評価を行う。						

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、a～cに○をつける。

(工事主管課長)

考査項目	細別	a	b	c
6 社会性等	I 地域への貢献等	地域への貢献が非常に優れている	地域への貢献がやや優れている	他の事項に該当しない場合
<p> <input type="checkbox"/> 河川等の保全を具体的に実施した。 <input type="checkbox"/> 公園等及び周辺地域等の環境保全、貴重種等の動・植物への保護等に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との環境に合わせる等、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> 定期的に応報活動や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> 地域生活に密着したゴミ拾い、道路清掃等のボランティア活動等へ積極的に参加し、地域に貢献した。 <input type="checkbox"/> 災害時等に地域への援助・救援活動に積極的に協力した。 <input type="checkbox"/> その他の事項： </p> <p style="text-align: center;">※上記該当項目を総合的に判断して、a, b, c評価を行う。</p>				

※地域への貢献とは、工事の施工にともなって、地域社会や住民に対する配慮などの貢献について、加点評価する。

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(工事主管課長)

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表							
8 法令遵守等	措 置 内 容	点 数						
	<input type="checkbox"/> 1. 指名停止3ヶ月以上	- 20点	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:80%;">項目該当なし</td> </tr> </table>			項目該当なし		
				項目該当なし				
	<input type="checkbox"/> 2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	- 15点						
	<input type="checkbox"/> 3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	- 13点						
	<input type="checkbox"/> 4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満	- 10点						
	<input type="checkbox"/> 5. 文書注意	- 8点						
	<input type="checkbox"/> 6. 口頭注意	- 5点						
<input type="checkbox"/> 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合(不問処理案件、もらい事故や交通事故は含まない。)	- 3点							
<input type="checkbox"/> 8. 総合評価方式による入札を行った工事について、落札者の決定に反映された技術提案が履行できなかった場合。	- <input style="width:30px;" type="text"/> 点	左記表の1～7の該当項目と8の和 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:10%;"></td> <td style="width:80%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">-</td> <td style="text-align:center;"><input style="width:60px;" type="text"/></td> <td style="text-align:center;">点</td> </tr> </table>				-	<input style="width:60px;" type="text"/>	点
-	<input style="width:60px;" type="text"/>	点						
<p>① 本評価項目(8. 法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった」場合に適用する。</p> <p>② 「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事するものに限定する。</p> <p>【上記で評価する場合の適応事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。 ・ 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 ・ 3. 宿舍環境等の使用人等に関する労働条件に問題があり、送検等された。 ・ 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 ・ 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。 ・ 6. 建設業法に違反する事実が判明した。Ex)一括下請(上請)、技術者の専任違反等 ・ 7. 入国管理法に違反する外国人の不法労働者が判明し、送検等された。 ・ 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 ・ 9. 監督または検査の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 ・ 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 ・ 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検等された。 ・ 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 ・ 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 ・ 14. 安全管理の処分が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 ・ 15. 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった。 ・ 16. その他 (理由: _____) 								

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。確は確認項目、加は加点項目、減は減点項目を示す。

(工事検査員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2 施工状況	I 施工管理 <input type="checkbox"/>	施工管理が優れている <input type="checkbox"/> 契約約款第18条第1項第1号から5号(条件変更等)に基づく設計図書の照査を行い、施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 工事材料の資料の整理及び確認がなされ、管理されている。 <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 見本または工事記録写真等の整理に工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きが事前になされている。 <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされている。 <input type="checkbox"/> リサイクルへの取組が適切になされている。 <input type="checkbox"/> 建退共の証紙が適切に配布され管理できている。 <input type="checkbox"/> 作業分担と責任の範囲が書面で確認できる。 <input type="checkbox"/> 計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出している。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類及び資料整理がよい。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準等が作成され管理している。 <input type="checkbox"/> 工事監察において指摘がない。 <input type="checkbox"/> その他の事項:	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である <input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により修補指示を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、工事検査員から文書により指示を行った。(工事手直し指示を含む)
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... b 該当項目が 60%以上80%未満..... c 該当項目が 60%未満..... d	$\frac{\text{a}}{\text{b}} = \text{c} \%$		1項目でも該当あれば・・・ d 2項目以上該当・・・・・・・ e	
		① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。				

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	細別	(工事検査員)				
		a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	I 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び設計値を満足し、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び設計値を満足し、ばらつきが規格値の概ね80%程度以内で、下記の「評価対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形が、測定項目、測定基準及び設計値を満足し、a及びbに該当しない。	出来形が、測定項目、測定基準及び規格値を満足せず、規格値を超えるものがあり、ばらつきが大きい。	
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 出来形管理図及び出来形管理表に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、管理している。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において不可視部分の出来形が写真で的確に判断できる。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> その他の事項: <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> ① 出来形の評定は、工事全般を通したものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体系である。 ④ ばらつきの考え方は別図参照。 </div>			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
	機械設備工事・電気設備工事	a	b	c	d	e
	出来形管理が適切である	出来形管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	出来形管理がやや不備である	出来形管理が不備である	
※上記欄によらず、当該欄で評価	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に判断できる。 <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定して、適切に管理している。 <input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の形状、寸法の設計値に対する実測値が許容範囲内であり、満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の性能、機能において、実測値が設計値以上となっており、満足している。 <input type="checkbox"/> その他の事項: 該当項目が 90%以上…………… a 該当項目が 80%以上90%未満…………… b 該当項目が 60%以上80%未満…………… c 該当項目が 60%未満…………… d			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e	
		$\frac{\text{[]}}{\text{[]}} = \text{[]} \%$		<div style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 </div>		

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	コンクリート構造物工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックがなく、発生したクラックに対しては有識者の意見に基づく処置を行っている。 <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。 <input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。(影響が特に重大な場合) <input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e			
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間(1.5hr(25℃超)or2.0hr(25℃以下))、打設時投入高(1.5m)、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。(RC構造物のみ) <input type="checkbox"/> 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。(資格証等) <input type="checkbox"/> スペーサーの材質(コンクリート製orモルタル製)が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置(側壁2個/m ² ・底版4個/m ²)し、鉄筋のかぶりを確保している。	上記該当あれば・・・ c	上記該当あれば・・・ d	上記該当あれば・・・ e	
		該当項目が 80%以上…………… a 該当項目が 60%以上80%未満…………… b 該当項目が 60%未満…………… c	$\frac{\text{[]}}{\text{[]}} = \text{[]} \%$ ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	土工事 (切土、盛土、築堤等工事) <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施している。 <input type="checkbox"/> 段切り等が施工前に適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 締固めを適切な条件で施工している。 <input type="checkbox"/> 筋芝または種子吹付等を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固等の処理を適正に行っている。 <input type="checkbox"/> 土羽工(土羽土)の土質が適正である。 <input type="checkbox"/> CBR試験等を行なっている。 <input type="checkbox"/> 法面に有害なクラックや損傷部がない。			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
		該当項目が 80%以上…………… 該当項目が 60%以上80%未満…………… 該当項目が 60%未満……………	$\frac{\text{a}}{\text{c}} = \text{b} \%$ a ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 b ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%) c 計算の値で評価する。			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	護岸・根固・水制工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 裏込材、胴込コンクリートの充てんまたは締固めが充分で、空隙が生じていない。 <input type="checkbox"/> 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等で材料のかみ合わせ又は連結が適切で、裏込材の吸出しのおそれがない。 <input type="checkbox"/> 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切である。 <input type="checkbox"/> 遮水シートが所定の幅(15cm以上)で重ね合わせられ、端部処理が適切(20cm以上)である。 <input type="checkbox"/> 植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切である。 <input type="checkbox"/> 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結またはかみ合わせが適切である。	<p> <input type="checkbox"/> コンクリートブロック張等にクラックがある場合、進行性又は有害なクラックはなく、発生したクラックには適切な処置を行っている。 <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ c </p>	<p> <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。 <input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d </p>	<p> <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。(特に影響が重大な場合) <input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e </p>	
		<p> 該当項目が 80%以上…………… a 該当項目が 60%以上80%未満…………… b 該当項目が 60%未満…………… c </p>	<p> <input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> % </p> <p> ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 </p>			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる) <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> [評価対象項目] [工場製作関係] <input type="checkbox"/> 鋼材の員数照合がミルシート等(現場照合を含む)で確認されている。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。(資格証等) <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 [架設関係] <input type="checkbox"/> ボルトの締め付け確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> ボルトの締め機、測定機器のキャリブレーション(検査)を実施している。 <input type="checkbox"/> 支承の据付で、コンクリート面のチップング及びキルタル付着が確認でき、仕上げ面に水切り勾配がついている。 該当項目が6項目以上..... a 該当項目が5項目 b 該当項目が4項目以下..... c </div>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> 上記該当あれば・・・ d </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin: 5px 0;"></div> 上記該当あれば・・・ e </div>

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	砂防構造物工事及び地すべり防止工事(抑止杭・集水井戸工事を含む) <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <p>[共通]</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間(1.5hr(25℃超)or2.0hr(25℃以下))、打設時投入高(1.5m)、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 地山との取り合わせが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋または鋼材の規格がミルシートで確認できる。 <p>[砂防構造物工事に適用]</p> <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立・加工が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> アンカーが設計図書どおり施工してあることが、確認できる。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーション(試験)を実施している。 <p>[地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)に適用]</p> <input type="checkbox"/> アンカーが設計図書どおり施工してあることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ライタープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮し施工を行っている。 <input type="checkbox"/> ライタープレートと地山との隙間が少なくなるように施工を行っている。 <input type="checkbox"/> 集・排水ホーリング工の方向、角度が適正となるように施工上の配慮がなされている。	<p><input type="checkbox"/> クラックがある場合、進行性又は有害なクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。</p> <p>上記該当あれば・・・ c</p>	<p><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。</p> <p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。(特に影響が重大な場合)</p> <p>上記該当あれば・・・ e</p>	<p><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。(特に影響が重大な場合)</p> <p>上記該当あれば・・・ e</p>
		<p>該当項目が 80%以上..... a</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>	<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p>			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e		
3 出来形及び出来ばえ	舗装工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である		
II 品質	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <p>[路床・路盤工関係]</p> <p><input type="checkbox"/> 路床・路盤 施工に先立ち、CBR値を測定し、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 路床・路盤工のプルフローリングを行っている。</p> <p>[アスファルト舗装工関係]</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練が行われており、適切な混合物の規格が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 混合物の温度管理がプラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 舗装後、直に供用する必要がある現場で、交通開放を適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 舗装の各層の継ぎ目が仕様で定められた数値(15cm)以上ずらしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 目地の処理が仕様書に定められた通りであることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業(締め固め等)の配慮が行われている。</p> <p>[コンクリート舗装工関係]</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間(1.0時間(タンクトラック)or1.5時間(ジ/テータトラック)、打設方法、養生方法等を適切に行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> チェア、タイバー等の保守管理が適正であることが確認できる。</p> <p>該当項目が6項目以上..... a</p> <p>該当項目が5項目 b</p> <p>該当項目が4項目以下..... c</p>			<p><input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・ d</p>		<p><input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・ e</p>	

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	基礎工工事 (地盤改良等を含む) <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <p>[杭関係(コンクリート・鋼管・鋼管井筒等)]</p> <p><input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 杭の打止め管理方法または場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 水平度、安全度、鉛直度等が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 場所打ち杭について、トレー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重等が適切に管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> ライナープレートの組立にあたって、偏心と歪が少なくなるよう配慮されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。</p>			<p><input type="checkbox"/> 工事監督員が、文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。</p>	<p>上記該当あれば・・・ d</p> <p>上記該当あれば・・・ e</p>
		<p>該当項目が 80%以上……………</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満……………</p> <p>該当項目が 60%未満……………</p>	<p>a</p> <p>b</p> <p>c</p>	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p>		

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	コンクリート橋工事 (PC及びRRCを対象)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間(1.5hr(25℃超)or2.0hr(25℃以下))、打設時投入高(1.5m)、締固時のバイブレータの機種、養生方法等、適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の引張り強度または曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。(資格証等) <input type="checkbox"/> スペーサーの材質(コンクリート製orモルタル製)が適正で、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置(側壁2個/m ² ・底板4個/m ²)し、鉄筋のかぶりを確保している。 <input type="checkbox"/> プレベーム桁のプレフレクション(緊張)管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 装置(機器)のキャリブレーション(試験)が実施されている。 <input type="checkbox"/> 緊張及びグラウト管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮応力度の1.7倍以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っている。	<p>上記該当あれば・・・ c</p>	<p><input type="checkbox"/> クラックがある場合、有害又は進行性のクラックが無く、発生したクラックに対しては有識者等の意見に基づく処置を行っている。</p> <p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・ d</p>	<p><input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがあり、無処置である。(特に影響が重大な場合)</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。</p> <p>上記該当あれば・・・ e</p>
		<p>該当項目が 80%以上..... a 該当項目が 60%以上80%未満..... b 該当項目が 60%未満..... c</p>	<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p>			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	塗装工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む) <input type="checkbox"/> ケンが入念に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗膜に有害な付着物がない。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目以下..... c			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	トンネル工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ等が適切である。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄網の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋等の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 金網の継ぎ目を15cm(一目)以上重ねあわせていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートは浮石等を除いた後に、15cm以下の厚さで地山と密着するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 吹付コンクリートの打継ぎ部の施工で清掃及び湿潤状態が確認できる。 <input type="checkbox"/> ロックボルト挿入前にくり粉除去の清掃がなされている。 <input type="checkbox"/> 逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎ目が同一線上にないことが確認できる。 			<p><input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。</p>	
		<p>該当項目が 80%以上..... a</p> <p>該当項目が 60%以上80%未満..... b</p> <p>該当項目が 60%未満..... c</p>			<p>上記該当あれば・・・ d</p> <p>上記該当あれば・・・ e</p>	
		<p><input type="text"/> / <input type="text"/> = <input type="text"/> %</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p>	

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	植栽工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。 <input type="checkbox"/> 活着管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のあるものは除去されている。 <input type="checkbox"/> 余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。 <input type="checkbox"/> 肥料が直接樹木の根に触れないように、また均一に施肥されている。 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目以下..... c			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		品質関係の試験値が1つも無い場合は、下記の評価対象項目だけで評価する。 [評価対象項目] <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。 <input type="checkbox"/> ペイント式(常温式)区画線に使用するシナーの使用量が10%程度以下である。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶等の管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。 該当項目が3項目以上..... a 該当項目が2項目..... b 該当項目が1項目以下..... c			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	建築工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 材料の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 部品の品質及び形状が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 機器等(設備等)の機能が設計図書等との適切性確認ができ、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 室内の塵芥処理等が適切に行われ、納まりの事前検討も十分実施され、良質な施工が伺える。 該当項目が3項目以上..... a 該当項目が2項目..... b 該当項目が1項目以下..... c			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	機械設備工事・電気設備工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が充分実施され、内容が確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等(現場照合を含む)で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 部品の品質、機能、性能が証明書等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 機器の品質、機能、性能が成績表等で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 製品の機能、性能管理が設計図書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。 <input type="checkbox"/> 操作制御関係が、所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> 設備の総合性能が設計図書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。 $\frac{\text{ }}{\text{ }} = \text{ } \%$ 該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... b 該当項目が 60%以上80%未満..... c 該当項目が60%未満..... d			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 上記該当あれば・・・ e
				① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。		

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ II 品質	電気通信工事 <input type="checkbox"/>	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
		<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 仕様書で定められている品質管理が実施されている。 <input type="checkbox"/> 単体品(材料・部品組立後の品質及び形状が均一で、設計図書等との適正が確認でき、証明書等が整備されている。ただしJIS及び電気用品取締法施行令によるものは、単体品の証明書を省略できるものとする。) <input type="checkbox"/> 設備の機能が設計図書等との適正を確認でき、その機能の証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 設備全体としての運転性能(工場及び現地試験結果)がよく、所定の能力を満足している。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、設備の機能(性能)が容易に判別できる資料等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が所持できる資料が整備されている。 <p> 該当項目が5項目以上..... a 該当項目が4項目..... b 該当項目が3項目以下..... c </p>			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> <p>上記該当あれば・・・ d</p>	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> <p>上記該当あれば・・・ e</p>

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	下水道工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> 材料の品質照合がミルシート等(現場照合を含む)で確認でき、満足している。 <input type="checkbox"/> ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されている。 <input type="checkbox"/> 薬液注入工の材料が適切であり、注入量及び全体使用量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場にて管を切断する場合、適切な方法で切断され、管に損傷がない。 <input type="checkbox"/> 現場にて切断した管の切断面等や塗装面に傷、はがれが生じた場合に処理を行っている。 <input type="checkbox"/> 薬液注入工の注入管理(注入量-圧力、周辺の状況監視)が適切である。 <input type="checkbox"/> 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件及び気象条件に適した運搬時間(1.5hr(25℃超)or2.0hr(25℃以下))、打設時投入高(1.5m)、締固時のパイプレータの機種、養生方法等、適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度を適正に管理されている。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固等の処理を適正に行っている。 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練が行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装 混合物の温度管理がプラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。 <input type="checkbox"/> アスファルト舗装 舗装後、直に供用する必要がある現場で、交通開放を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 水圧検査(漏水確認)を行っている。 <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由: <input type="checkbox"/> その他理由:			<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ e
		該当項目が 90%以上..... 該当項目が 80%以上90%未満..... 該当項目が 60%以上80%未満..... 該当項目が60%未満.....	a b c d	$\frac{\text{a}}{\text{a+b+c+d}} = \text{ } \%$	① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。	

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	橋梁補修(ひび割れ補修、断面修復工等)	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> ひび割れ補修工 表面含浸・塗装工 断面修復工 その他	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 施工前に、クラックを中心にワイヤーブラシ、ディスクサンダー等で表面の汚れ、付着物等を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用材料の特性を理解したうえで天候等現場状況を確認し、気温・湿度等の計測を行い作業していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 主剤と硬化剤の攪拌、配合や可使時間が適切に管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 注入器具を所定の間隔でひび割れの中心に設置し、シール材の硬化時間を確認してから、注入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ひび割れ表面をシール材で確実に閉塞しており、注入にあたって注入材の漏れ、ダレがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 注入器、シール材、コンクリート表面に付着した注入材等をワイヤーブラシ、ディスクサンダー等で完全に除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 高圧洗浄水等で洗浄し、施工面に付着物等が無く清掃されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時の天候、気温及び湿度、コンクリート表面の水分量等の施工条件を管理し、適切な条件下で塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 規程の回数で塗布されており、空缶管理等により、基準塗布厚を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用材料の特性を十分に理解し、塗布した箇所を適切に管理し塗り抜け無く施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗布後の養生が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 健全部に損傷を与えないよう不良部を完全に撤去し、ブラシ、若しくはエアール等ではつり面の清掃を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 発錆している鉄筋の裏側まではつり取り、鉄筋の錆を完全に除去後、速やかに防錆剤を塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 攪拌、配合が適正に管理され、使用材料に適した可使時間内の施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 断面補修材の強度試験等を実施していることが確認出来る。 <input type="checkbox"/> 1回当りの施工厚は、材料特性を確認し規定の厚さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工後は直射日光、風等が当たらないようにシートがけ養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他の事項:	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 上記該当あれば・・・ e	
		該当項目が 90%以上..... a 該当項目が 80%以上90%未満..... b 該当項目が 60%以上80%未満..... c 該当項目が60%未満..... d	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> $\frac{\text{a}}{\text{b}} = \text{c} \%$ ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。 </div>			

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	ほ場整備工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div> 共通 整地工 道路工 排水路工 管水路工	[評価対象項目] <input type="checkbox"/> 仕様書等で定めている材料の品質証明書等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 畦畔・道路法面・用排水法面に、クラックや損傷部がない。又は損傷部を適切に補修している。 <input type="checkbox"/> 基盤切盛が良好な排水状態を維持するなど適切に施工され、基盤の均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 表土厚さ・客土厚さが適切に確保され、石レキや雑物の混入も少なく、均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 畦畔及び盛土部が十分に締固められている。 <input type="checkbox"/> 畦畔の通り及び畦畔の勾配が図面どおりに適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 盛土の締固めが適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 敷砂利等が均等で平坦性が良好である。 <input type="checkbox"/> 道路の中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の接合が適切であり、埋め戻しについては仕様書等に示された条件どおり締固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 排水路の中心線及び縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品等の材料の保管管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既存施設や付帯構造物との取合せがスムーズに実施できている。 <input type="checkbox"/> 掘削断面に崩壊・過堀がなく、施工基面が平滑に仕上げられるとともに、埋戻しの締固め(撒き出し・転圧)が適正に出来ている。 <input type="checkbox"/> 管水路の中心線および縦断勾配については、図面どおり適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 仕切弁・空気弁等の設置位置及び接合が、図面・仕様書どおりに適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> パイプ等の材料の保管管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 通水試験等が適切に行われ、許容範囲内であることが確認できる。	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>	<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 20px; margin-top: 5px;"></div> 上記該当あれば・・・ e

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

考査項目	工種	a	b	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ	上記以外の工事又は合併工事	品質管理が適切である	品質管理がほぼ適切である	他の事項に該当しない	品質管理がやや不備である	品質管理が不備である
II 品質	<input type="checkbox"/>	<p>[評価対象項目]</p> <input type="checkbox"/> その他の事項: <input type="checkbox"/> その他の事項: <input type="checkbox"/> その他の事項: <input type="checkbox"/> その他の事項: <input type="checkbox"/> その他の事項:	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 工事監督員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ d	<input type="checkbox"/> 契約約款第31条(中間検査)、第32条第2項(検査及び引渡し)に基づき破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ e	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 上記該当あれば・・・ e

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、a～dに○をつける。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	コンクリート構造物工事 砂防構造物工事 トンネル工事	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	該当 5 項目以上 a 該当 4 項目 b 該当 3 項目 c 該当 2 項目以下 d		
		土工事 (盛土・築堤工事等)	<input type="checkbox"/> 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	該当 4 項目以上 a 該当 3 項目 b 該当 2 項目 c 該当 1 項目以下 d		
		切土工事	<input type="checkbox"/> 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 法面の浮石除去等、表面が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 施工面の木根等が確実に施工されている。 <input type="checkbox"/> 施工面には滞水防止等の処理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが適切に行なわれている。 <input type="checkbox"/> 残土等が適切に処理されている。	該当 6 項目以上 a 該当 4 項目以上 b 該当 3 項目 c 該当 2 項目以下 d		
		護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のかみ合わせが良い、またはクラックがない。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。	該当 3 項目以上 a 該当 2 項目 b 該当 1 項目 c 該当項目無し d		
		鋼橋工事	<input type="checkbox"/> 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	該当 4 項目以上 a 該当 3 項目 b 該当 2 項目 c 該当 1 項目以下 d		
		地すべり防止工事	<input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録簿から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	該当 3 項目以上 a 該当 2 項目 b 該当 1 項目 c 該当項目無し d		

工事成績評定の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入し、a～dに○をつける。

(工事検査員)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3 出来形及び出来ばえ	III 出来ばえ	舗装工事	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 5 項目以上 a 該当 4 項目 b 該当 3 項目 c 該当 2 項目以下 d	
		法面工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 植生、吹き付け等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 3 項目以上 a 該当 2 項目 b 該当 1 項目 c 該当項目無し d	
		基礎工工事 (地盤改良等を含む)	<input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部、天端仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録簿等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。		該当 3 項目以上 a 該当 2 項目 b 該当 1 項目 c 該当項目無し d	
		コンクリート橋工事	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 6 項目以上 a 該当 4 項目以上 b 該当 3 項目 c 該当 2 項目以下 d	
		塗装工事 (工場塗装を除く)	<input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当 4 項目以上 a 該当 3 項目 b 該当 2 項目 c 該当 1 項目以下 d	
		植栽工事	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 植栽帯の全体的な美観が良い。		該当 3 項目以上 a 該当 2 項目 b 該当 1 項目 c 該当項目無し d	

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、a～dに○をつける。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d	
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない場合		仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3 出来形及び出来ばえ	III 出来ばえ	防護柵(網)工事	<input type="checkbox"/> 通りが良い。		該当 5 項目以上	a
			<input type="checkbox"/> 端部処理が良い。		該当 4 項目	b
			<input type="checkbox"/> 部材表面に傷、錆がない。		該当 3 項目	c
			<input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。		該当 2 項目以下	d
			<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。				
		<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。					
		標識工事	<input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。		該当 4 項目以上	a
			<input type="checkbox"/> 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。		該当 3 項目	b
			<input type="checkbox"/> 標識板、支柱に変色がない。		該当 2 項目	c
			<input type="checkbox"/> 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。		該当 1 項目以下	d
			<input type="checkbox"/> 全体的な取扱いがしやすい。				
		区画線工事	<input type="checkbox"/> 塗布の均一性、視認性が良い。		該当 3 項目以上	a
			<input type="checkbox"/> 接着状態が良い。		該当 2 項目	b
			<input type="checkbox"/> 清掃が入念に実施されている。		該当 1 項目	c
			<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当項目無し	d
		建築工事	<input type="checkbox"/> 建築物の通り、形状が良い。		該当 6 項目以上	a
			<input type="checkbox"/> 仕上げの均一性、平坦性が良い。		該当 4 項目	b
			<input type="checkbox"/> 機能面での配慮が適切である。		該当 3 項目	c
			<input type="checkbox"/> 防水の納まりが良好である。		該当 2 項目以下	d
			<input type="checkbox"/> 建具の取り付け、作動が良い。				
			<input type="checkbox"/> 関連工事との取り合いが良い。				
			<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				
		機械設備工事	<input type="checkbox"/> 仕上状態が良く、全体的な美観に優れている。		該当 4 項目以上	a
			<input type="checkbox"/> 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が優れている。		該当 3 項目	b
			<input type="checkbox"/> 異常な振動、騒音がなく、動きもスムーズで、総合的な機能、運転性能が優れている。		該当 2 項目	c
			<input type="checkbox"/> 公共物としての安全、環境、維持管理等への配慮が良い。		該当 1 項目以下	d
			<input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等細部にわたる配慮が良い。				

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、a～dに○をつける。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3 出来形及び出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ	電気設備工事 照明設備工事 その他類似工事	<input type="checkbox"/> 構造物等にきめ細かな施工がなされている。		該当 4 項目以上 a
			<input type="checkbox"/> 公共物としての安全、環境、維持管理への配慮が良い。		該当 3 項目 b
			<input type="checkbox"/> 構造物とのすりつけが良い。		該当 2 項目 c
			<input type="checkbox"/> 製作上の補修痕跡がない。		該当 1 項目以下 d
			<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
	維持修繕工事	<input type="checkbox"/> 小型構造物にも細心の注意が払われている。		該当 3 項目以上 a	
		<input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。		該当 2 項目 b	
		<input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。		該当 1 項目 c	
		<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。		該当項目無し d	
	通信設備工事 受変電設備工事 その他類似工事	<input type="checkbox"/> 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がなされている。		該当 4 項目以上 a	
		<input type="checkbox"/> 公共物としての安全、環境、維持管理への配慮が良い。		該当 3 項目 b	
		<input type="checkbox"/> 構造物との通り、すりつけが良い。		該当 2 項目 c	
		<input type="checkbox"/> 製作上の補修痕跡がない。		該当 1 項目以下 d	
		<input type="checkbox"/> 全体的な取扱いがしやすい。				
	ブロック製作工事 (ケーソン陸上製作工事を含む)	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の肌が良い。		該当 4 項目以上 a	
		<input type="checkbox"/> 据付等に影響する通り・角度の狂いが無い。(ケーソン、セルラーブロック等)		該当 3 項目 b	
		<input type="checkbox"/> 端部、天端仕上げが良い。		該当 2 項目 c	
		<input type="checkbox"/> クラックがない。		該当 1 項目以下 d	
		<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				
	下水道工事	<input type="checkbox"/> 管口、樹(弁)、天端等の仕上げがよい。		該当 4 項目以上 a	
		<input type="checkbox"/> 通りがよい。		該当 3 項目 b	
		<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性がよく、構造物とのすりつけがよい。		該当 2 項目 c	
		<input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。		該当 1 項目以下 d	
		<input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。				

工事成績評定の考査項目別運用表

(工事検査員)

[記入方法]該当する項目の□にレマークを記入し、a～dに○をつける。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
			仕上げがきめ細かく、全体的に美観が良い		他の事項に該当しない場合	仕上げが悪く、全体的に美観が悪い
3 出来形及び出来ばえ	III 出来ばえ	橋梁補修(ひび割れ補修・断面修復工等)	<input type="checkbox"/> 構造物の表面及び端部の仕上げが良い。		該当 4 項目以上 …… a	
			<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。		該当 3 項目 …… b	
			<input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。		該当 2 項目 …… c	
			<input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来映えの良さがうかがえる。		該当 1 項目以下 …… d	
		<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。				
		二次製品水路工事	<input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。		該当 4 項目以上 …… a	
			<input type="checkbox"/> 材料の連結、かみ合わせが良い。		該当 3 項目 …… b	
			<input type="checkbox"/> 土工の仕上げが良い。		該当 2 項目 …… c	
			<input type="checkbox"/> 構造物との取合せ等が良い。		該当 1 項目以下 …… d	
			<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
		ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> 土工の通りが良く、仕上がりも良い。		該当 4 項目以上 …… a	
			<input type="checkbox"/> 付属施設(水口等)に細心の注意が払われている。		該当 3 項目 …… b	
			<input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。		該当 2 項目 …… c	
			<input type="checkbox"/> 構造物の通りが良く、取合せも良い。		該当 1 項目以下 …… d	
			<input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。			
		上記以外の工事 または 合併工事	<input type="checkbox"/> 理由:		該当 4 項目以上 …… a	
			<input type="checkbox"/> 理由:		該当 3 項目程度 …… b	
			<input type="checkbox"/> 理由:		該当 2 項目程度 …… c	
			<input type="checkbox"/> 理由:		該当 1 項目程度以下 …… d	
			<input type="checkbox"/> 理由:			

※ 該当工種からの考査事項で考査し、最大考査項目は5項目とする。